

令和2年度  
北広島市保健福祉計画検討委員会  
第3回 障がい福祉部会

日時：令和2年9月11日（金） 18時30分～19時10分  
場所：北広島市役所 3階 会議室3D

◇北広島市保健福祉計画検討委員会委員

出席者：松阪委員（部会長）、米沢委員、奥田委員、若狭委員、  
西野委員、加藤委員、森委員、近藤委員

欠席者：なし

◇事務局

奥山福祉課長、柄澤高齢者・障がい者相談担当参事、濱田子ども発達支援センター長、松本福祉課主査、五十嵐高齢者・障がい者相談担当主査、高屋子ども発達支援センター主査、阿部子ども発達支援センター主査、片山福祉課主事

◇傍聴者：1名

《議事概要》

1 開会

2 審議事項

事務局：北広島市障がい支援計画（平成30年度～令和2年度）の評価、課題及び今後の方向性について、資料1「北広島市障がい支援計画（H30～R2）の評価、課題及び今後の方向性について」及び別紙資料「第5期障がい福祉計画における数値目標」をもとに説明。

委員：資料1の19ページ、成年後見制度における市長申立は件数が少ないが、どのようなケースで市長申立が適用されるのか？

事務局：市長申立は例年1、2件程度であり、昨年度は0件。意思疎通が可能な場合、成年後見センターの支援を受けて本人申立を促す場合もある。本人に申立て可能な親族がおらず、本人と意思疎通が図れない場合に市長申立となるので、件数は多くない。

### 3 報告事項

事務局：アンケート調査の実施結果について、資料2「令和2年度福祉に関するアンケート調査報告書【調査結果】」及び資料3「令和2年度北広島市障がい支援計画策定に向けた市民意識調査【調査結果】」をもとに説明。次回の部会等でも質問を受ける。

(質問なし)

### 4 その他

事務局：今後のスケジュールについて、10月にも部会の開催を予定しており、アンケート結果の分析をしつつ、今後3年間の施策の柱、次期計画の方向性について検討を行う。次期計画の方向性が定まったのちに素案策定を進める。11月は部会の開催を2回程度予定しており、年内の素案の完成に向けて協議を進める。

(異議なし、承認)

### 5 閉会